



年頭ごあいさつ

2012



静岡商工会議所 会頭
後藤 康雄

はごろもフーズ(株) 代表取締役会長

会員・地域から真に頼りにされる 商工会議所を目指して

年頭にあたり、謹んで新春の御慶びを申し上げます。


平素より当商工会議所の事業運営にご協力いただいております関係各位および会員事業所の皆様方には、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、3月の東日本大震災により、一時、生産活動や輸出、消費が大幅な落ち込みを示しました。サプライチェーンの復旧とともに、徐々に回復に向かったものの、原子力発電所停止に伴う電力供給不安や超円高の長期化、欧州の債務危機問題、タイの洪水被害などが影響して、秋以降は足踏み状態となっております。また、失業率が依然高

水準にあるなど厳しい状況が続いております。

こうした厳しい経済環境のなか、私ども静岡商工会議所は、「会員第一」「明るくさわやか」「有言実行」の3つの合言葉のもと、今年度から3ヶ年の第1次中期行動計画「テイク・オフ13」をスタートいたしました。この計画は、「企業づくり(創造型、挑戦型地域企業の育成・支援)」、「地域づくり(政策提言の強化と魅力あるまちづくりへの支援)」、「基盤づくり(組織・財政基盤の強化と職員能力の向上)」の3本を柱とし、会員そして地域から真に頼りにされる商工会議所を目指して、様々な事業を展開しているところでございます。





具体的には、昨年4月から「マーケティング支援室」を新設し、経営支援体制の強化を図っております。ここでは、創業する企業や経営革新に取り組み企業への支援のほか、「創業&技術アイデア展」などのビジネスマッチング事業を実施し、地域企業の販売促進や市場開拓に力を入れているところでございます。

また、今月から当商工会議所内の「静岡県中小企業再生支援協議会」に「事業引継ぎ支援センター」を設置し、経営者の皆様の高齢化や後継者不足等により事業承継に不安を抱えておられる会員の支援を行ってまいります。

さらに、地元大学との連携による新産業・新技術の創出支援事業も実施しており、商品化された美容・健康ドリンク「美アスタ」や炭疽病抑制堆肥「いちごいちえ」など、様々な新製品の開発と研究を進めているところでございます。その一つに、海馬(タツノオトシゴ)の養殖研究があり、昨年までに養殖技術はほぼ確立されました。今年は辰年ということもあり、是非とも早期に事業化できるよう取り組んでまいりたいと存じます。

一方、静岡市では田辺新市長様のもと、観光振興を切り口として、求心力が強く、世界中から人が集まるまちづくりを目指し、まちみがき戦略推進プランを実施しております。特に、日本平・久能山・

三保の整備については、当商工会議所も参加して地域協議会を設立し、政府が推進する「総合特区制度」の実現に向け、協議を重ねているところでございます。また、本年初夏には待望の新東名高速道路の県内区間が開通いたします。静岡空港や清水港との陸海空のネットワークが構築されれば、地域産業の活性化に加え、防災力の強化や企業立地の加速も期待できることは間違いございません。当商工会議所といたしましても、静岡市を始めとする行政機関や関係団体との連携を一層深め、官民一体となつて、魅力あるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

加えて、私ども静岡商工会議所では、「テイク・オフ13」に基づき、昨年より全会員巡回訪問活動を実施しています。これは3年間で全会員を1.5巡する計画ですが、職員が巡回訪問することで会員の皆様が必要とする情報やニーズをダイレクトに把握し、質の高いサービスの提供につなげていこうという活動でございます。皆様の御理解・御協力を改めてお願い申し上げます。

結びに、本年が我が国にとりまして震災復興と経済再生に向けた明るい希望の年となるとともに、皆様にとりまして素晴らしい1年となりますことを祈念いたします。新年の挨拶とさせていただきます。

